

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)10月15日 No.1105

## 目次

1998年9月末時点のロシアの経済状況.....坂口泉	1
キーパーソン.....	14
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	14

## 1998年9月末時点のロシアの経済状況

### はじめに

本レポートでは、ミクロ経済の視点から、1998年9月時点のロシア経済の現状を報告することを試みている。より具体的にいえば、ロシアの金融システムの現況、主要な産業分野の状況、ならびに、消費市場(一般市民の生活)等について個別に紹介している。

なお、このレポートは、あくまで1998年9月末時点の情報をまとめたものであり、その後状況が変化した可能性もあることを予めご了承願いたい。

### 1. 金融業界(ロシア商業銀行)をめぐる動き

ロシアの決済システムは現在麻痺状態にあり、このことがロシアの経済全体に深刻な影響を及ぼしている。たとえば、給料の支払いや税金の徴収等にも支障が生じているし、正常な貿易業務も困難となっている。

決済システムというのは、人体にたとえば血管のようなものであり、この部分がしっかりしていないと、いくら血液(現金)を注入したところで、体の隅々まで血液は流れていかない。たとえば、いくらルーブルを増刷しても、それが当該の人々や機関の手に届かないという事態も考えられる。換言すれば、決済システムの崩壊はロシアの経済危機をこれほどまでに深刻化させた最大の病巣のひとつであり、まずこの部分を治癒しない限り、経済危機からの脱却の足場を作ることすら不可能であるといえる。

以下では、まずこのように非常に重要な意味をもつ決済システム(具体的には、その核を形成するロシアの大手商業銀行)の現状、ならびに、ゲラシチェンコ新総裁の指揮のもと、現在、ロシア中銀が取り組んでいる決済システム蘇生策について紹介することとする。

#### (1) ロシアの大手商業銀行と国債

ロシアの商業銀行は、一部の例外を除き、流動資産に占める国債の割合が非常に高いという共通の特徴を有している。たとえば、『インターファクス論拠と事実』紙(以下、IFAIFと称する。1998.9.7-13)によれば、1998年6月1日時点でのロシアの金融システムの流動資産の合計は約